



フジ

87

個人宅 大蔵 1-9



開花：5月上旬

花の房が普通のフジより長くなり、その長さは1mを超えるものもあります。90年ほど前に接木されたそうです。せたがや百景「大蔵の五尺藤」にも選ばれています。



開花：5月

ハクウンボク（群）

砧8

都立砧公園 砧公園 1-1



花が連なって咲く様子が白雲のようであることが名前の由来です。散った花は地面を絨毯のように覆います。種子は油を多く含むため、和ろうそくの原料になります。



## セندان

園8

都立園芸高等学校 深沢 5-38



淡い紫色の花を咲かせます。実がたくさんつくことから千珠（せんだま）、千団子（せんだんご）など名前の由来が諸説あります。

「梅檀（せんだん）は双葉より芳し」の梅檀とは別種です。



開花：5月中旬～6月上旬

## チシャノキ

79

教学院 太子堂 4-15

若葉がチシャ（レタス）の味に似ているそうです。白い小さな花が集まった房状の花を咲かせます。

安政年間（1855～1860年）に青山の教学院に植えられたものを、教学院がこの地に移転した明治41（1908）年に移植されたそうです。



開花：6月中旬～下旬



# 秋の花

暑い夏が終わり、さわやかな秋晴れの青空のもと、特徴的な香りの花々が清々しい秋の訪れを感じさせてくれます。



## キンモクセイ

31

長円寺 岡本 1-20

香りの良いオレンジ色の花を咲かせる庭木として有名です。キンモクセイとしては大きく、高さ 10mを超えています。



開花：10月中旬～下旬

## ギンモクセイ

登天3

静嘉堂文庫美術館 岡本 2-23

キンモクセイとの違いは花が白いことと少し葉が厚いことです。キンモクセイほど強くありませんが、良い香りがします。こちらも高さ 10mを超えています。この木は、世田谷区登録天然記念物に指定されています。



見頃：10月中旬～下旬



# 紅葉

秋も深まってくると、木々の葉が赤や黄色へと変化していきます。お寺や神社、学校などには、美しい紅葉で人々から親しまれてきた木がたくさんあります。

## 【雌雄のある木イチヨウ】

イチヨウの木には雌雄があり、雌花だけをつける木と雄花だけをつける木があります。雌の木には銀杏がなります。ちなみにモッコク (p.26、34)、ヒトツバタゴ (p.11、68) のように雄花だけをつける木と雄しべと雌しべのある両性花をつける木がある樹種もあります。



イチヨウ（並木）

17

成城学園正門前の街路樹 成城 6 丁目



成城学園正門前の区道にある並木です。まっすぐな幹のイチヨウが整然と並んでいます。成城学園がこの地に移転した当初（大正 14（1925）年頃）、学生たちと地域の住民の方々が植えたといわれています。

## イチョウ

13

円泉寺 太子堂 3-30



樹高は 27.8mと名木のイチョウの中では 2 番目に高く、幹周りも 4mを超えています。

樹形がきれいで樹勢もよい大木です。秋には、黄色く色づいた葉と青空とのコントラストが美しく、ひときわ目をひきます。雌の木で銀杏がなり、樹齢は 500 年ほどと伝えられています。

円泉寺の入口にあるケヤキ並木も名木に選定されています (p.29)。

また境内には地名の由来になった聖徳太子を祀る太子堂があります。



## イチョウ

18

長円寺 岡本 1-20

こんもりとした丸い樹形が目を引きイチョウです。枯枝や傷も無く、樹勢が良く、銀杏もたくさん実る木です。境内にはモミジも植えられていて、秋には紅葉の共演が楽しめます。

長円寺にはほかにもエノキ(p.54)、キンモクセイ (p.14) が名木に選定されて、保存樹木に指定されている樹木も複数あります。

この辺りは谷戸川近くの高台で、境内は様々な木々が生き茂る静かなところ です。



## イチヨウ

19



八幡神社（粕谷八幡神社）粕谷 1-23

都立蘆花恒春園の北側に隣接する神社にあり、雌の木で銀杏がなります。

名木のイチヨウの中で三番目に樹高が高い木で、枝ぶりも見事です。境内にはモミジもあるので紅葉の頃はこのイチヨウとともに景色に華やかな彩りを添えます。

また、入口には杉の切り株が残され、文豪徳富蘆花がこの杉の木の前まで客人を見送ったとのこと。著書『みみずのたはごと』では「別れの杉」として登場しますが、第二次世界大戦後には枯れてしまいました。現在は二代目の杉が鳥居の脇に植えられています。



## イチヨウ

20

常栄寺 北烏山4-13



昭和天皇御大典記念（昭和 3（1928）年 11 月 10 日）に千歳村村長を通じて下賜（かし）され、記念樹として植樹された木のひとつといわれています。

植樹されてから 90 年ほど経っていますが、樹形が整い、樹勢もよい木です。雌の木で銀杏がたくさん実ります。

常栄寺は烏山寺町と呼ばれる、歴史と自然に恵まれた静かな地域にあります。



## メタセコイア(並木)

91

ラ・コルダ弦巻 弦巻 5-1

道路沿いに高さ 20m を超す大木が整然と並んでいて目をひきます。針葉樹としては珍しい落葉樹で美しい紅葉が見られます。昭和薬科大学の跡地にあります。



## ラクウショウ

106

成城学園 成城 6-1



メタセコイアと同じように、紅葉し、落葉する針葉樹です。葉の形を鳥の羽根に見立て、枝ごと葉が落ちることから落羽松(らくうしょう)という名前がつけました。マツ科ではなくヒノキ科の植物ですが、小さな松ぼっくりのような実(p.52)があります。

沼のほとりなど湿地に生えることから、ヌマスギという別名もあります。



## イロハモミジ

22

密蔵院 桜上水 2-24

葉が 7 つに分かれることが多く、「いろはにほへと」と数えたことが名前の由来です。

この木は苔むした幹が歴史を感じさせる古木で、毎年秋には葉がオレンジ色に色づきます。



## ケナシヤグルマカエデ

都立園芸高等学校  
深沢 5-38



園 5

エンコウカエデのうち、裂片(れっぺん (p.31))に 1~2 個の粗い鋸歯(きょし (p.31)) (葉のギザギザ)があるものはケナシヤグルマカエデといわれます。(写真内丸印)。中には鋸歯が無い葉もあります。

